

令和2年度事業報告書

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

特定非営利活動法人TICO

1 事業の成果

アフリカ・アジア地域に対して地球規模の問題に苦しむ人々の自立支援と持続可能な社会の構築を目指し、事業を行った。

ザンビア共和国では、平成29年秋から立ち上げたザンビア大学教育病院（UTH）における「ザンビア医療協力事業」を継続。しかし、今年度は新型コロナウイルス感染症の世界的流行により、渡航しての現地活動ができなかった。また、ザンビア国内においても、昨年4月以降新型コロナウイルス感染症の流行が深刻になり、当団体が支援しているザンビア大学教育病院（UTH）においても病院機能が麻痺するほどの大きな影響が出はじめ、日本から現地に渡航せずに行える緊急支援を模索し、従来から行っている心臓手術に必要な機材の購入支援とともに、感染対策に必要なマスクやフェイスシールド、使い捨ての防護衣、体温計、血中酸素飽和度測定機などの物資の提供を行った。また、TICOの活動の拠点を置く10miles地域の小学校5校に対し、感染予防のための手洗いタンク、石鹸、マスク、体温計などの物資を提供した。その他、TICO賛助会員でもある医師が個人的にボランティア活動している医療機関「ジンバミッションホスピタル（ZMH）」にも、同様の支援を行い、さらに、その地区で活動する現地NGO「Kocebuka Foundation」が行う「新型コロナウイルス感染予防啓発活動」に対して資金の援助を行い、感染予防ポスターや街頭看板の作成及び啓発チラシ配布などのキャンペーン活動を行ってもらった。

カンボジア国での活動については、新型コロナ感染症の影響により、予定していた「JICA 草の根技術協力事業（地域活性化枠）」は契約には至らなかった。しかし、JICA 四国、JICA カンボジア事務所とは年度末に協議し、大幅な事業計画の見直しが行われ、動画やWEB会議形式を用いてリモートによる支援を行うことで合意し、令和3年度の前半までに契約を締結し、令和3年度中に事業を開始する見込みとなった。

国内事業に関しては、地球人育成事業として、派遣要請を受けた小・中学校への講師派遣を行ったが、これも新型コロナウイルス感染症の流行のため、非常に少ない数に留まった。また、季刊誌の発行は、海外での事業ができなかったこともあり活動内容が限定されたことで、2回に留まった。ファンドレイズについては、公益社団法人 風 に立つライオン基金の助成金に応募し、昨年の引き続き助成金の交付決定を受けた。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
生活向上の機会を著しく奪われている人々の問題解決への協力事業	ザンビア医療協力事業 ・心臓手術に必要な機材の購入支援等 ・病院への感染対策に必要な物資の提供 ・学校への感染予防のための物資を提供 ・現地NGOへの感染予防啓発活動費の支援	年1回 年1回 年1回 年1回	ザンビア ルサカ市 ZMH 10miles Zimba	7人	ザンビア共和国 UTH/住民2千人 ZMH/地域住民5百人 地域の小学生2千人 地域住民2万人	1,809
	カンボジア医療協力事業 ・JICAの草の根技術協力事業(地域活性化枠) 新規プロジェクトの契約手続きに向けた調整	年0回	バタンバン州	4人	バタンバン州 医療従事者 及び 住民3万人	0
会報及び出版物の発行	機関誌,パンフレットの発行・広報媒体作成、その他の広報活動	年2回	事務局	2人	会員・一般 500人	13
国内での開発教育に関する事業	地球人育成事業	年3回	事務局等	4人	徳島県民 300名	0
他の市民活動を行う団体の運営または活動に関する連絡,相談,助言等の事業	他の市民活動を行う団体との共同支援活動,他の市民活動を行う団体への相談,助言	随時	事務局等	1人	他の市民活動を行う団体(約20団体)	0
	事務局運営(管理費)	通年	事務局	1人	全事業対象者	116

(2) その他の事業

実施した事業はありません。